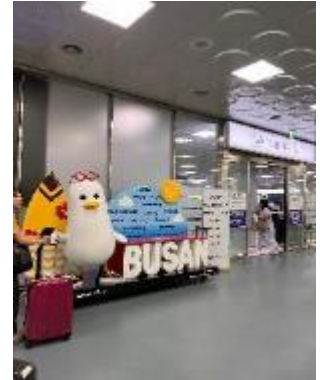


1 日目: 韓国へ出発

2024 年 8 月 19 日(月)滞在 1 日目 学部生 2 年 R.0

1 日目は大分から電車と飛行機を乗り継ぎ、蔚山市を訪問しました。空港からバスでホテルまで移動し、バスの中では韓国の交流学生の皆さんとたくさんお話ししました。韓国の交流学生が7月に大分を訪問して以来の再会だったので、約1か月ぶりに会うと話すと話すことがたくさんあり、会話が弾みました。釜山や蔚山は想像していたよりも大都市であり、高層の建物が多く並んでいることに驚きました。しかし、自然の景色も多くあり、バスで通る道の中、とてもきれいな場所がたくさんありました。



夕食は、韓国料理である参鶏湯（サムゲタン）をいただきました。参鶏湯は丸ごとの若鶏に高麗人参やナツメなどの漢方を詰め込み煮込む薬膳料理です。参鶏湯はとても熱く、優しい味がして体調の悪いときに食べたいと思うほど美味しかったです。韓国の学生によると、暑い夏の時期にあえて熱い薬膳料理である参鶏湯を食べることで、体力の回復をはかり、栄養をとるのだと教えてくれ、日本でいうと土用の丑の日に鰻を食べるという習慣と似ているなど感じました。参鶏湯が提供される前に、キムチや炒め物など多くの種類の料理が提供され、日本との食文化の違いに気づくこともできました。



夕食後は、コンビニエンスストアやカフェなどを訪れ、韓国の食べ物を楽しんだりお店を訪問したりすることができました。コンビニエンスストアでは、日本のお菓子や韓国のおにぎりなどが販売されており、日本のコンビニエンスストアと似ているなど思いました。また、訪れたコンビニエンスストアの店員さんが日本から来てくれてありがとうと言ってくださり、とても歓迎してくださったので、人の温かさを感じる事ができ、ますます、韓国のことが好きになり、もっと知りたいという思いも強まりました。

2 日目: ウルサン大学訪問、韓国安全衛生庁、ウルサン大橋展望台

2024 年 8 月 20 日(火) 滞在 2 日目 学部生 2 年 Y.S

2 日目はまず、蔚山大学を訪問して韓国の看護制度の説明を受けました。蔚山大学の学生さんが私たちを快く歓迎してくださり、すぐに打ち解けることができました。その後、蔚山大学のスポーツセンターを訪れました。韓国国内の大学で一番長いプールや、ゴルフ・ダンス・卓球といった様々なスポーツが楽しめる屋内ジムを備えているとても広い施設でした。一つの施設で多くのスポーツを体験できることや、中にはレストランやスポーツ用品店も備わっていること、学生のみならず地域の人たちも利用可能であ

る点から、多くの人が快適に過ごすことができ、非常に便利で誰もが使いやすい施設だなと感じました。

お昼ご飯は、イタリア料理をいただきました。日本人の口にも合うように作られており美味しくいただくことができました。韓国の学生とお話をしながらさらに親交を深めることができました。食事をした後は繁華街を歩きフリータイムを過ごしました。

午後からは、労働災害防止技術に関することを学ぶことができる施設を訪れました。韓国では建設現場での事故が多く、特に墜落・転倒が多いそうです。

建設現場では足場を組んで作業をするため、安全帯を正しく使えていなかった際に墜落して大怪我をしたり、命を落としたりするケースがあるそうです。施設内で実際の工場を再現したり労働者を再現した人形などを設置しており、安全確保のためにどのような工夫をしているのかを見学しました。事故を未然に防ぐために様々な対策を行なっていることがわかり、労働者の安全管理が保持・増進されるというなと感じました。

次に蔚山大橋展望台を訪れました。展望台に上ると、韓国最長で東洋で3番目に長い蔚山大橋や蔚山の三大産業である石油化学、自動車、造船産業団地や蔚山七大自然を眺めることができました。日中訪れた蔚山市中心部の全景を見渡すことができ、とても綺麗でした。

夜ご飯は韓国料理のチュクミを食べました。チュクミは、韓国語で「小さなタコ」という意味を持っておりその名の通り、小型のタコを使った料理です。豚肉や野菜と一緒に炒め、それを大根やエゴマの葉で巻いていただきました。見た目からすごく辛そうで、この料理が韓国で食べた中で一番辛かったのですが、美味しかったです。韓国の学生さんは「辛くない」と言っていたので食文化の違いを改めて感じました。



学部生 2 年 A.K

2 日目ははじめに、蔚山大学を訪問しました。蔚山大学の交流学生と 2 年生が歓迎してくださいました。到着後、まずはじめに講義を受けました。講義では7月の日本での交流の際の蔚山の交流学生の話、韓国での介護の現状に関する講義を受けました。韓国でも日本と同様に少子高齢化が進んでいます。いつ自分が介護する側になるのか、いつその立場になるのかがわからないということを自分でも自覚しなければならぬと感じました。

その後、スポーツセンターに移動しました。大きなプールやゴルフの練習場、広いジムやミラーボール

など日本の大学にはないようなものがたくさんあり興味深かったです。実際にここで施設を利用するのは学生だけではなく、地域の方も利用できるため、多くの方が利用しやすい構造になっています。韓国では大学ごとに“スタジャン”があるそうで、学部によって色が違うと言っていました。写真を見せてもらったのですが、おしゃれで羨ましい文化だなと思いました。

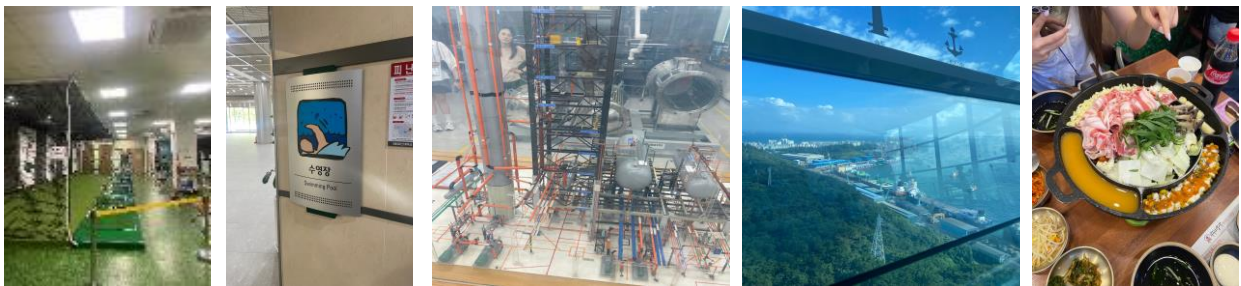
その後、大学の周りにある繁華街でご飯を食べて、フリータイムを過ごしました。ご飯は、イタリア料理でした。イタリア料理でしたが、キムチもありました。周りに店がたくさんあり、私たちはその時間に、韓国のインセンネッコという 4 カットの写真を撮りに行きました。とても良い思い出の一つとなりました。

フリータイムの後バスで移動して、韓国安全衛生庁を訪問しました。ガスを除くためのフィルターや工場に設備されているものの模型、防護服をきた人形、どのような危険があるかということが目で見て学べる人形があり、安全を守るための工夫を詳しく知ることができました。この施設は工場で働く人が実際に見ると機械を理解することができ、より安全確保に努めることができるようになる施設であると感じました。

その後、蔚山大橋の展望台を訪れました。蔚山を上から見た景色ではやはり工場が多いことが印象に残ってます。360 度見渡す限り工場があり、特に、韓国の大型企業である Hyundai（ヒュンダイ）の工場が大きかったです。また、たくさんの船があり、漁業や輸入輸出の発展を実感することができました。

その後、夜ご飯に、チュクミを食べました。チュクミは、イダコという小さいタコを辛く炒めたもので、チーズや卵につけて食べます。韓国の学生が慣れた手つきで切ったり、炒めたりしてくれました。そのまま食べるととても辛かったのですが、とても美味しかったです。本場の辛さを実感しました。また、どこにでもキムチがあり、店によって味が違って面白かったです。

その後フリータイムでスイーツやチヂミを食べました。ピンスという韓国のかき氷を食べたのですが、ボリュームが大きかったです。韓国の食べ物は文化もありどの食べ物も量が多いので、満腹感を感じられ幸せでした。



3日目：ウルサン大学附属病院、ウルサン南部保健所、認知症安心ハウス

2024年8月21日(水)滞在3日目 学部生4年 H.M

【蔚山大学病院】

蔚山大学病院の概要や看護部についての説明の後、救急室の見学をさせていただきました。看護師の教育体制には、新人看護師が先輩についてアドバイスをもらうコーチングシステムや、新人看護師独立100日後からの自己成長プロジェクト、プリセプターに向けた教育するためのワークショップなど、新人看護師が安心して働ける環境が整えられていました。新人看護師だけでなく、経験を積んだ看護師への取り組みもあり、病院全体の職員の質向上につながっていると感じました。また、見学させていただいた救急室には、採血管を入れて一分以内で結果がでる「TEG6s」という血液検査装置や、薬剤部に取りに行かずとも、登録されている麻薬等の薬剤がすぐ取り出せる「自動調剤キャビネット」などがありました。これらの機械は一般病棟にはなく、救急時に業務効率を上げられるように設置してありました。救急室以外でも看護体制は1人の看護師あたり患者2人で、大分の病院の看護体制とは異なっていました。また、韓国では、家族が看病する、もしくは入院費に加えて患者を看病する看病人を雇う文化があり、家族にとって負担が大きくなっていました。そのため近年では、その負担を軽減するために看護師などの医療従事者が介護を担う「看護介護統合サービス」が導入されているとのことでした。蔚山大学の学生も、韓国では入院したら家族が看病することが当たり前だと話しており、国によって文化が異なると感じました。



【蔚山南部保健所】蔚山南部保健所の概要についての説明の後、各部署の実施内容の説明や質疑応答をしていただいた。こちらの保健所は部署ごとに部屋がわかれており、住民の方が来て教育を受ける環境が整えられている印象でした。訪問中にもフィットネスルームで運動している住民の方が何名かいらっしゃいました。また、禁煙クリニックでは実際に薬を受け取りにこられた方もおり、薬の説明など対応の仕方を見学することができました。薬は無料であったため驚きました。



母子保健室やがん広報室、結核管理室、歯科室、検査室、禁煙クリニックなど多くの部署がある中で、特に歯科室、結核管理室、母子保健室が日本の保健所とは異なると感じました。歯科室には歯科医が在籍しており、日本の歯科医院で見る機器がそろっていました。日本の保健所にはこのような歯科室はないため驚きました。特に障害者や生活費が十分でない方、65歳以上の高齢者が治療を受けられるようになっていました。蔚山大



学の学生によると、歯科があるのは蔚山南部保健所特有で、他の保健所にはあまりみられないとのことでした。また、結核管理室では、近年韓国で罹患者が増加傾向にある結核予防対策として、韓国結核協会の X 線検査を搭載しているバスで高齢者が多い高齢者福祉施設などに行き、一年に千人程度スクリーニングしているとのことでした。母子保健室では、ハイリスクの人だけを 25 回程度訪問する生涯初期支援や、乳幼児発達事業を保健所で料金を渡して病院で行うシステムなどがありました。日本でいうところの赤ちゃん訪問は行っていないようでした。



【認知症安心ハウス】

認知症のモデルルームを見学しました。認知症の方に特有のリスクに備え、様々な工夫が施されていました。例えば、洗面所では、鏡像現象により鏡に映る自分に怒る可能性を考慮し、鏡にシャッターをつけていたことや、温度感覚が鈍くなるため高温で火傷しないように「お湯」や「水」と表記し、ストッパーをかけていたことなどがありました。また、センサーマットや手すり、食器など、日本でも使われているものも多かったです。韓国では、認知症の方が徘徊しても住所がわかるように警察と協働したシステムがあり、登録するとコードのついた 80 枚のシールがもらえて、コードを読み込むと自宅や保護者がわかるようになっていました。このシールを認知症の方の洋服などに身につけることで、徘徊による行方不明や交通事故など生命の危機への防止だけでなく、家族の安心にもつながっているとのことでした。



学部生 4 年 M.O

【認知症体験館】

認知症のモデルルームを見学しました。認知症の方に特有のリスクに備え、様々な工夫が施されていました。例えば、洗面所では、鏡像現象により鏡に映る自分に怒る可能性を考慮し、鏡にシャッターをつけていたことや、温度感覚が鈍くなるため高温で火傷しないように「お湯」や「水」と表記し、ストッパーをかけていたことなどがありました。また、センサーマットや手すり、食器など、日本でも使われているものも多かったです。韓国では、認知症の方が徘徊しても住所がわかるように警察と協働したシステムがあり、登録するとコードのついた 80 枚のシールがもらえて、コードを読み込むと自宅や保護者がわかるようになっていました。このシールを認知症の方の洋服などに身につけることで、徘徊による行方不明や交通



事故など生命の危機への防止だけでなく、家族の安心にもつながっているとのことでした。

【夕食】サムギョプサル

夜ご飯はサムギョプサルを食べにいきました。サムギョプサルは日本でもかなり人気の韓国の食事ですが、本場で食べるサムギョプサルはとても美味しかったです。豚肉を使った料理は他にポッサムという料理があることを知りました。サムギョプサルとは違って茹で豚をサンチュなどに巻いて作るそうです。また韓国に行った際に食べたいと思いました。また、韓国の交流学生とグループになって座り、お酒も飲みながら沢山の話をすることができました。韓国にはご飯を残すのが良い文化ということを知りましたが、日本人としてはもったいないという思いが強く文化の違いを感じました。



【ボーリング】

夜ご飯の後は、ボーリングを楽しみました。日本のボーリングと同じように韓国にもボーリング場があり、ゲームの形式なども同様でした。韓国の学生と日本の学生混合のチームをつくり、チーム同士でボーリング対決をしました。これまでの交流で既に仲良くなることができたようにも感じていましたが、ボーリングを機にさらに互いの距離が近くなったと感じました。



4日目：プサン広域市観光

2024年8月22日(木)滞在4日目 学部生4年 S.F

滞在4日目は釜山広域市を観光しました。午前中は海東龍宮寺という海岸に建てられたお寺を訪れました。十二支の仏像があり、それぞれ自分の干支の石像と一緒に写真を撮りました。十二支の他にも、福をもたらす神として知られる布袋様の黄金の像や、触れると男の子を授かるといわれる石像等、様々な仏像や石像がありとても興味深かったです。お寺は学業成就を祈願することもできるそうです。受験生がいる韓国の学校や家庭が寺へ米を奉納し、学業成就を祈願するそうです。敷地内にはたくさんのお寺がありましたが、学業成就を祈願するお寺では、米を奉納した人の名前が天井からびっしりと吊り下がっていました。日本のように御守り等を購入し、学業成就を祈願するという文化はあまりないようで、お

寺では販売していませんでした。お寺は海岸沿いに建てられているため、海を一望することができます。当日は快晴で、青く澄んだ美しい海を眺望することができました。韓国の文化に触れ、美しい景色を見ることができ、とても楽しかったです。

釜山のセンタムシティへ移動し、昼食はプルコギを頂きました。韓国の先生方や学生たちから食べ方をレクチャーしてもらい、おいしく楽しく食事を頂きました。午後からは、新世界百貨店で買い物をしました。新世界百貨店は韓国の有名ブランド他、世界中の有名ブランドがテナントとして入っており、近隣の地下鉄と直結している、広さや規模の大きさがギネスに登録されたこともある大型デパートです。韓国の学生と日本の学生4、5人のグループに分かれて、それぞれショッピングを楽しみました。

滞在最終日の夕食は蔚山へ戻り、ビュッフェを頂きました。これまでの交流を振り返ったり、自身の将来についてお互いの展望を聞き励ましあったりと様々な話をすることができました。韓国の交流学生が、他にやり残したことはないか、買いたいものはないか等、尋ねてくださり最後まで学生たちの思いやりや温かさを感じ感激しました。



夜ご飯を食べた後、最後のフリータイムです。韓国の学生が私たちに行きたいところはないか聞いてくれ、日本の学生がそれぞれ行きたい場所に連れて行ってくれました。目的地まで歩いて向かっている途中で素敵な写真が取れました。この写真は韓国にあるデパートの写真ですが、夕暮れの空がとてもきれいで5分ぐらい写真撮影をしました。



目的地に到着して友達へのお土産や自分用にバックやポーチなど様々な思い出の品を買いました。日本にはない商品もたくさんあり、とても楽しかったです。

その後全員で集合し、韓国のカラオケを楽しみました。広い部屋でライトがピカピカと光るためテンションがとても上がりました。カラオケには日本の曲もあったため、私たちは日本の曲を歌いました。歌っていると韓国の学生も知っている曲もあり、一緒に盛り上がることができました。また、韓国の学生が日本の歌を歌っていてすごく上手でした。また、カラオケの最後に大きなサプライズがありました。それは、韓国の学生が私たちのためにケーキを用意してくれていたことです。これにはとても驚いたのと同時にすごくうれしい気持ちになりました。また、明日来る別れの時間が寂しい気持ちにもなりました。

カラオケの後に韓国の学生とプリクラをとりました。韓国のプリクラではカチューシャやメガネなどのコスチュームを無料で自由に選ぶことができ種類がたくさんあって選ぶのがとても難しかったです。韓国の学生とプリクラをとることができ、とても良い思い出になりました。

ホテルに帰って日本の学生でサプライズしてもらったケーキを食べました。とてもおいしかったです。韓国の学生のみんなありがとう。私たちも楽しかったよ！



5日目：日本へ帰国！

2024年8月23日(金)滞在5日目4年 N.F

朝ホテルを出発しました。ホテルのロビーでは韓国の学生と先生がお見送りをしてくれました。大分で5日間、韓国で5日間、合計10日間という短い時間でしたが、本当にたくさんの思い出ができました。昨日のサプライズのお礼に私たちも韓国の学生に色紙を渡しました。とても喜んでくれていたのでよかったです。すると、韓国の学生からも手紙やプレゼントをもらいました。韓国の学生と最後の挨拶をし、また会おうと約束をしてホテルを出発しました。



空港まではバスで移動し、韓国の街並みを見ながら韓国の学生からももらった手紙やプレゼントを見て、これまでの思い出を振り返りました。

空港につくと荷物を預ける際に小さなハプニングがありました。韓国でたくさんお土産を買い過ぎたのか、学生全員が荷物の重量オーバーとなっていました（追加料金を払えば大丈夫でした）。韓国でたくさんの思い出ができたことを実感しました。荷物検査が終わると、韓国での最後の昼食を食べました。少し辛かったです、とてもおいしかったです。残りの時間は空港内を歩いたり、コンビニでお菓子を買って食べたりして待ちました。お昼過ぎには韓国を出発し、日本に到着しました。

最後に、この学生交流プログラムに参加して様々なことを学び、体験できたことに加えて国を超えて新たな友人もでき、とても充実した10日間となりました。最初は英語でのコミュニケーションに対して自信もなく、上手く話せないこともありましたが、自分が伝えたいことが相手に伝わった時や、何を言いたいのか理解しようとしてくれることがとても嬉しかったです。私はこの学生交流プログラムに参加して本当によかったと思っています。このような貴重な経験をさせていただいたこと、準備をくださった方々に感謝の気持ちでいっぱいです。今回経験して学んだことを今後につなげていきたいと思いません。

